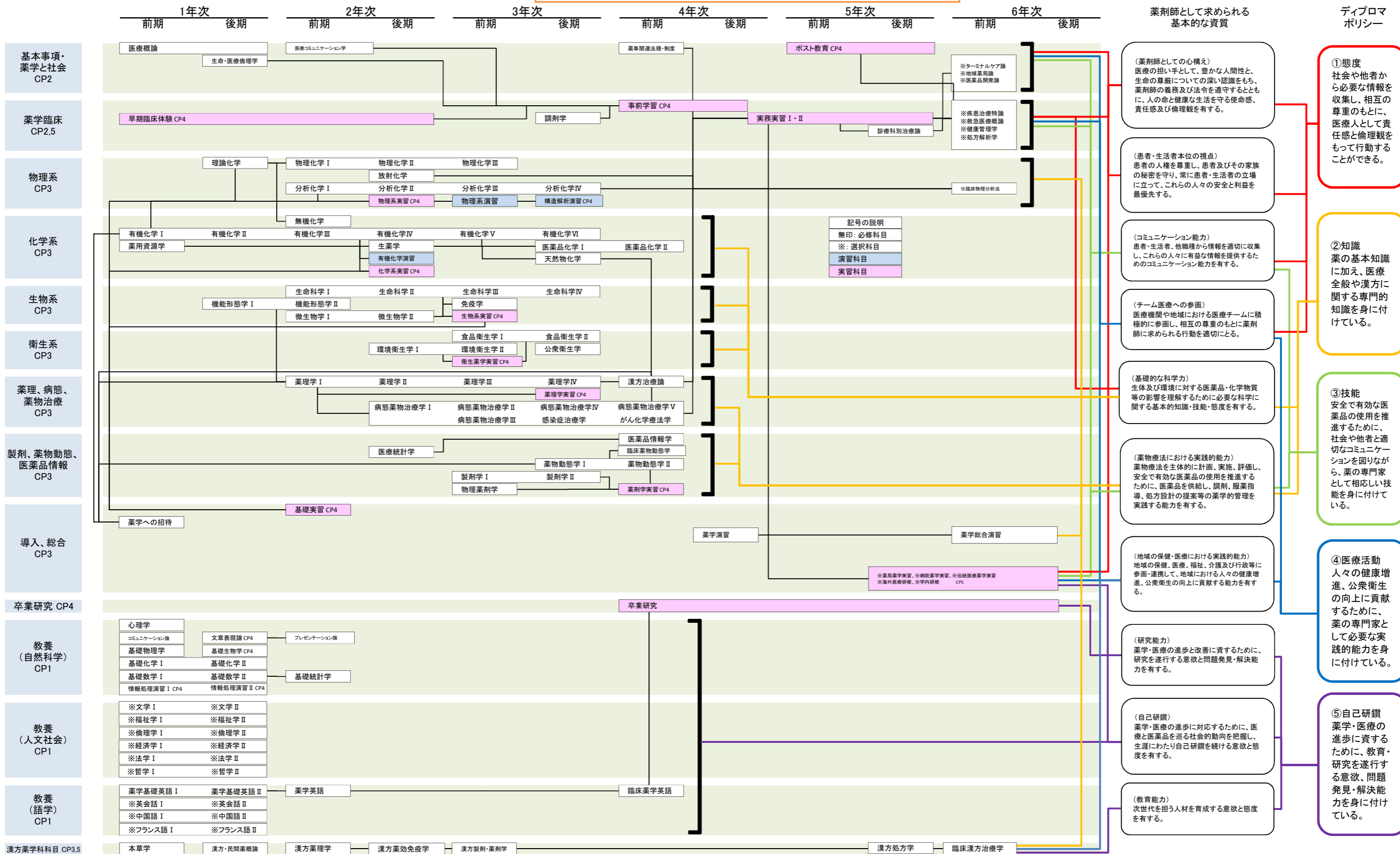


カリキュラムマップ(漢方薬学科) H30~R3年度適用

カリキュラムポリシー(CP)

- CP1: 豊かな教養と人間性を醸成する教養教育・倫理教育科目を配置します。
- CP2: 国内外の医療従事者と連携できる医療系教養・専門教育科目を配置します。
- CP3: 基礎薬学、医療薬学及び漢方に至るまで、実践能力を持つ薬剤師として必要な知識、技能を醸成する専門科目を配置します。
- CP4: 問題発見能力、問題解決能力、プレゼンテーション能力を醸成し自己研鑽できる専門科目を配置します。
- CP5: 薬剤師として、様々な医療現場で活躍できる能力を醸成するアドバンスト専門科目を配置します。



- 薬剤師として求められる基本的な資質**
- (薬剤師としての心構え) 医療の担い手として、豊かな人間性と、生命の尊厳についての深い認識をもち、薬剤師の義務及び法令を遵守するとともに、人の命と健康な生活を守る使命感、責任感及び倫理観を有する。
 - (患者・生活者本位の視点) 患者の人権を尊重し、患者及びその家族の秘密を守り、常に患者・生活者の立場に立って、これらの人々の安全と利益を最優先する。
 - (コミュニケーション能力) 患者・生活者、他職種から情報を適切に収集し、これらの人々に有益な情報を提供するためのコミュニケーション能力を有する。
 - (チーム医療への参画) 医療機関や地域における医療チームに積極的に参画し、相互の尊重のもとに薬剤師に求められる行動を適切にとる。
 - (基礎的な科学力) 生体及び環境に対する医薬品・化学物質等の影響を理解するために必要な科学に関する基本的知識・技能・態度を有する。
 - (薬物療法における実践的能力) 薬物療法を主体的に計画、実施、評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、医薬品を供給し、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践する能力を有する。
 - (地域の保健・医療における実践的能力) 地域の保健、医療、福祉、介護及び行政等に参画・連携して、地域における人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する能力を有する。
 - (研究能力) 薬学・医療の進歩と改善に資するために、研究を遂行する意欲と問題発見・解決能力を有する。
 - (自己研鑽) 薬学・医療の進歩に対応するために、医療と医薬品を巡る社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。
 - (教育能力) 次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する。
- ディプロマポリシー**
- ①態度 社会や他者から必要な情報を収集し、相互の尊重のもとに、医療人として責任感と倫理観をもって行動することができる。
 - ②知識 薬の基本知識に加え、医療全般や漢方に関する専門的知識を身に付けている。
 - ③技能 安全で有効な医薬品の使用を推進するために、社会や他者と適切なコミュニケーションを図りながら、薬の専門家として応じ得る技能を身に付けている。
 - ④医療活動 人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献するために、薬の専門家として必要な実践的能力を身に付けている。
 - ⑤自己研鑽 薬学・医療の進歩に資するために、教育・研究を遂行する意欲、問題発見・解決能力を身に付けている。

漢方薬学科科目 CP3.5